

[水と土の芸術祭2018パスポート]

3つの有料会場[大かま 万代島多目的広場(屋内)、NSG美術館、天寿園(屋内会場)]に入場できるパスポートがお得です!

有料会場	大かま 万代島多目的 広場(屋内)	NSG美術館	天寿園 (屋内会場)
パスポート	前売	一般1,200円、学生 ^{※1} ・65歳以上 ^{※2} 800円	
	当日	一般1,500円、学生 ^{※1} ・65歳以上 ^{※2} 1,000円	
単館チケット (当日券のみ)	一般	1,000円	700円
	学生 ^{※1} ・65歳以上 ^{※2}	700円	500円

※1 学生:高校生、大学生、短大生、大学院生、専門学校生

※2 65歳以上:利用日時点

次に該当する場合は無料 ○中学生以下 ○身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを提示した方及びその介助者1名

有効期限

2018年7月14日(土)～10月8日(月・祝)

販売場所

セブンチケット、チケットぴあ、メイン会場、サテライト会場、新潟駅万代口観光案内センター、新潟市美術館、新潟市水族館<マリニピア日本海>ほか新潟市内文化施設など

※メイン会場、サテライト会場は7月14日(土)から販売



パスポート特典

パスポートの提示による特典

- ・旧齋藤家別邸に団体料金で入館可
- ・北方文化博物館新潟分館に団体料金で入館可
- 有効期限:2018年7月14日(土)～10月8日(月・祝)

有料会場3カ所のスタンプを押したパスポートの提示による特典

- ・新潟市水族館<マリニピア日本海> 入場無料
- ・新潟市歴史博物館<みなとびあ> 常設展 観覧無料
- ・旧小澤家住宅 観覧無料
- ・新津鉄道資料館 観覧無料
- 有効期限:2018年7月14日(土)～2019年3月31日(日)

※パスポート1枚につき、記名した1名様1回限り有効です。

(北方文化博物館新潟分館は回数制限無し)

パスポート特典以外の特典との併用はできません。

[会場]

万代島エリア
[メイン会場] 万代島多目的広場
新潟駅CoCoLo西N+
信濃川やすらぎ堤

[サテライト会場] ゆいぽーと
新潟市芸術創造村・国際青少年センター

砂丘エリア
NSG美術館
砂丘館
安吾 風の館
旧齋藤家別邸
北方文化博物館新潟分館
新潟市美術館
西海岸公園
関分記念公園
天寿園

鳥屋野潟エリア
旧栗ノ木排水機場
清五郎潟

その他エリア
新津美術館 前庭
上堰潟公園
角田浜



移動には、みずつつしシャトル便が便利

会期中、メイン会場の万代島多目的広場と砂丘エリアをむすぶ「みずつつしシャトル便」を運行します。

経路:メイン会場-新潟市美術館前-サテライト会場-NSG美術館前-砂丘館前-

NEXT21前-メイン会場

料金:1回200円

★水と土の芸術祭2018公式ガイドブック提示で乗車無料です。

中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は乗車無料です。

新潟駅～メイン会場はバスで約15分

新潟駅万代口バスターミナルより

佐渡汽船線「佐渡汽船」行(3番線)または、「新潟市観光循環バス」朱鷺メッセ先回りコース(2番線)乗車。「朱鷺メッセ」下車。

おもてなしまちあるき(8日前までに要予約)

期間中、新潟駅とメイン会場間を新潟の文化を楽しく

学びながら移動できるまちあるきを実施します。

コース:新潟駅～メイン会場 料金:500円 所要時間:約60分

ガイド:新潟シティガイド 申込み:025-226-2629

※メイン会場休館日とまちあるきイベント実施日は除く

※1日2回実施。午前10:30出発、午後1:30出発

[新潟市へのアクセス]

■新幹線でお越しの方

東京から=[上越新幹線で新潟駅下車]約2時間 大阪から=[東海道・上越新幹線で新潟駅下車]約5時間

■飛行機でお越しの方

札幌から=[新千歳空港-新潟空港]約1時間15分 成田から=[成田国際空港-新潟空港]約1時間5分

大阪から=[伊丹空港-新潟空港]約1時間 福岡から=[福岡空港-新潟空港]約1時間30分

■自動車(高速道路)でお越しの方

東京方面から=[関越・北陸自動車道/練馬IC-長岡JCT-新潟西IC]約3時間20分

大阪方面から=[名神高速道路・北陸自動車道/吹田IC-米原JCT-新潟西IC]約6時間20分

[公式ガイドブック]

●2018年6月26日(火)発売

●1,000円(税込)

●フルカラー148ページ

●新潟県内及び都内書店で販売

新潟市内の文化施設や飲食店での

割引など多数特典付!



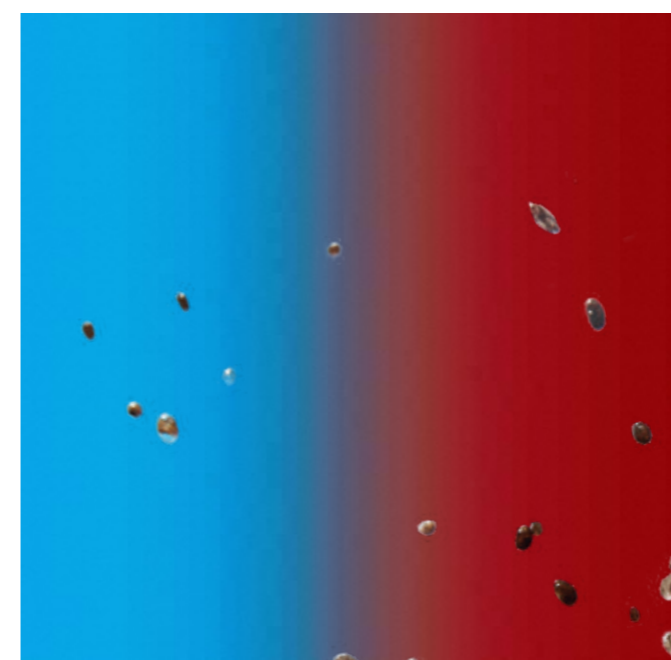
[お問い合わせ] 水と土の芸術祭2018実行委員会事務局

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1(新潟市文化創造推進課内)

Tel:025-226-2629 Fax:025-226-0050 E-mail:info@mizu-tsuchi.jp

水と土の芸術祭2018

検索



水と土の 芸術祭

Water and Land Niigata Art Festival 2018

MEGA BRIDGE

つながる。出会う。
交ざり合う。

2018.7.14 SAT — 10.8 MON 会場 | 新潟市

メイン会場: 万代島多目的広場
サテライト会場: ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センター



水と土の芸術祭

Water and Land Niigata Art Festival 2018

つながる。出会う。交ざり合う。

会期／2018年7月14日〔土〕～10月8日〔月・祝〕計87日間
 会場／〔メイン会場〕万代島多目的広場
 〔サテライト会場〕ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センター
 ほか新潟市全域
 主催／水と土の芸術祭2018実行委員会
 後援／総務省、経済産業省、駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館
 助成／平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、公益財団法人日本財団、一般財団法人地域創造、
 損保ジャパン日本興亜「SOMPOアート・ファンド」(企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)、
 公益財団法人朝日新聞文化財団



総合ディレクター：谷 新(美術評論家)
 アート・ディレクター：塩田 純一(前新潟市美術館館長)
 市民プロジェクト・ディレクター/子どもプロジェクト・ディレクター：藤 浩志(秋田公立美術大学副学長/美術家)

2009年から始まり今年第4回展を迎える「水と土の芸術祭」は、「私たちはどこから来て、どこへ行くのか～新潟の水と土から、過去と現在(いま)を見つめ、未来を考える～」という基本理念のもと「メガ・ブリッジ—つなぐ新潟、日本に世界に—」というコンセプトで臨みます。信濃川、阿賀野川の両大河、日本最大級の砂丘列、潟湖、そして日本最大級の穀倉地帯。他に類を見ない新潟の特長を、国内外で活躍するアーティストと協働する市民とともにアピールし、これまでにない新しい新潟の魅力を生み出していきたいと思ひます。

水と土の芸術祭2018 総合ディレクター 谷 新

ART アートプロジェクト

新潟の自然の成り立ちは「水」と「土」に象徴されます。それは<地水火風>という古くからの「四元素」を思わせます。そこは豊かでバラエティーに富んだ「生命」の誕生をうながし育みまし。今回のアートプロジェクトは、こうした「四元素」を素材やテーマにし、生命感あふれる表現や人間のいとなみの歴史などを表現した作品によって構成されます。また、かつて北前船の最大の寄港地であった新潟は、日本海を囲むアジア諸国をつなぐ日本の玄関口として貿易や文化交流で栄えてきました。この「四元素とそれによって育まれる生命」・「環日本海」という2つの大きな柱を基本コンセプトに、今日いっそう注目されるようになった、専門的な美術の枠を超えた自由な表現である「アール・ブリュット」などへの取り組みを含め、日本の各地域、さらには日本海から世界に向かって、メガ・ブリッジ(大きな架け橋)をかけていくという考え方に立っています。



星野 暁 / 《始まりのかたち—螺旋17》2017
photo:Hidekazu Oginuma



山内 光枝 / 《海船》2018



松井 紫朗 / 《君の天井は僕の床/One Man's Ceiling is Another Man's Floor》(豊田市美術館・2011年)

各会場の参加アーティスト

〔メイン会場〕=伊藤 公象、岩崎 貴宏、遠藤 利克、大西 康明、塩田 千春、ナウイン・ラウンチャイクン、松井 紫朗、森北 伸 [新潟駅CoCoLo西N+] = 間島 領一
 [信濃川やすらぎ堤] = ジャウマ・プレンサ [サテライト会場] = 伊藤 遠平、丑久保 健一、占部 史人、角地 智史、阪田 清子、高見沢 美穂、冨井 大裕
 [NSG美術館] = 荒井 経、伊藤 遠平、伊藤 知香、梶井 照陰、セルゲイ・ヴァセンキン、高見沢 美穂、潘 逸舟、柳 根澤
 [砂丘館] = 青木 野枝、池内 晶子、遠藤 利克、古川 知泉、山本 糾 [安吾 風の館] = 星野 暁 [旧齋藤家別邸] = 青木 千絵、星野 暁
 [北方文化博物館新潟分館] = 荒井 経、柳 根澤(コラボレーション企画) [新潟市美術館] = 古川 知泉、星野 暁 [西海岸公園] = 南川 祐輝 [関分記念公園] = 管 懐賓
 [天寿園] = 折元 立身、潘 逸舟、山内 光枝 [旧栗ノ木排水機場] = 青木 野枝、磯辺 行久 [清五郎潟] = 日比野 克彦 [新津美術館 前庭] = 高田 洋一
 [上堰潟公園] = 土屋 公雄 APT(=アートプロジェクトチーム) 田原 唯之+木村 恒介 [角田浜] = 浅葉 克己

CITIZEN 市民プロジェクト



水と土の文化創造都市市民プロジェクト2016
白井アートプロジェクト2016

市民自ら企画・運営を行う、市民と地域が主役のプロジェクトです。公募によって選ばれた、「水と土」をテーマとした84もの多様で多彩なプロジェクトには、新潟に生まれ、新潟で暮らす市民だからこそ見える歴史や暮らし文化の魅力が詰まっています。市民と一緒に参加し、新たな新潟の魅力を体験してください。今回の芸術祭では、それぞれのプロジェクトの連携やアートを活用して地域の課題に取り組む「地域拠点プロジェクト」を立ち上げ、新たな可能性にもチャレンジしています。



水と土の芸術祭2015
photo:Osamu Nakamura



水と土の芸術祭2015 市民プロジェクト
2015 ONE MORE CUP STORY

SYMPOSIUM シンポジウム

「自然との共生」を大きなテーマに、オリンピック文化プログラムや新潟開港150周年などと関連させた「水と土」に相応しい、新潟らしい魅力の発信と地域活性化につながるトークイベントを開催します。



水と土の芸術祭2015 photo:Osamu Nakamura

第1回シンポジウム
アートプロジェクトの関わり方 ～アートで社会の“境界”を超える～
 ■8月19日(日)15:00～ ■朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター中会議室
 第2回シンポジウム
食文化による地域づくり ～郷土食の再生からの地方創生～
 ■9月2日(日)14:00～ ■朱鷺メッセ新潟コンベンションセンタースノーホール
 みずつち座談会
 芸術祭参加アーティストや各分野で活躍する有識者による座談会式トークを4回開催

KIDS 子どもプロジェクト



野村 誠 / 日本セシヤリ一発音楽団とのファミリー・オーケストラ・ワークショップ



流木アートワークショップ

子どものためのワークショップなど、創造の喜びや驚きを体験することができるプログラムです。芸術を通して地域の歴史や文化への理解を深め、子どもたちの個性と創造性を育みます。



土谷 享(KOSUGE1-16) / とんこど! 巨大紙相撲 雷電東御場所(2017年)

参加アーティスト 井川 惺亮、ISOPP、土谷 享(KOSUGE1-16)、友政 麻理子、野村 誠、ハヤシ ヤスヒコ(パラモデル)

にいがた JIMAN

「食」や「農」、「伝統芸能」「おどり」など、新潟市の誇る豊かな文化をPR。「水と土」によってもたらされた新潟の宝物を自慢します。さらに、アーティストが新潟の魅力を引き出すワークショップも実施。メイン会場には、芸術祭公式ショップもオープンします。



水と土の芸術祭2015
photo:Osamu Nakamura

食と農

新潟の水と土の恵みである食を通して、新潟と出会う3か月



ショップ「橋、私。」
新潟らしい「はしわたし」をテーマにした、ウキウキするバス!?型のお店



水と土の芸術祭2015
photo:Osamu Nakamura

アートパフォーマンス

参加アーティスト:
大友 良英、藤田 貴大(マームとジブシー)



古町芸術
photo:アートミックス
ジャパン実行委員会

伝統芸能・おどり
新潟の水と土が育んだ多彩な伝統芸能を披露